

残りの者 シャーアル

石巻祈りの家NEWS LETTER「シャーアル」(134号)
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号
TEL /0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp
振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部 一
●代表／阿部 一 ●副代表／菊池せい子



信仰: 神様の携帯番号は?

- 桜開花宣言と、桜前線は今年も足早に北上していると聞いて慌てて介護施設訪問の帰り、桜で大きな沼全体が飾られて美しい平筒沼を車の中から鑑賞、その翌日朝に石巻の桜もと私の日和山の定点撮影地で桜を入れて写真を撮ってきました。その桜ももう散り始めています。みなさんにはお元気でお過ごしましたか?
- 温かい春の日が続き、庭にはオオイヌノフグリやヒメオドリコソウと共にヒマラヤ雪の下、そして負けじと水仙、スズラン、チューリップと競って咲き始めました。嬉しい春の到来です。
- 今、私はインターネットでも聞けるハーベスト・タイム・ミニストリーズの中川師のメッセージから、朝は「創世記」、そして本格的に学び直そうとしてメッセージを録音して、そのテープ起こしをして「ローマ人への手紙」を学んでいます。
- それに、旧約聖書の「創世記」から新約聖書に至るまで、神の一貫した再創造計画のストーリーが指示され、字面しか読んでこなかったことばや約束がいかに新約で重要な意味を持ちそれが確実に実現されたかを確認させられた。
- そして、クリスチャンが「救われた」ということは、何からの救いであり、救われるために「信じたこと」は何をどう信じたのかを再確認した。「神の一方的な恵みと信仰」によるただ1度の「義認」によってスタートし、現在私たちは召されるときの約束である「榮化」に向かって歩んでいる。それは日々の生活の中での古い性質と新しい性質の戦いの「聖化」の道である。
- 「聖化」は既に完成された者でないことを自覚し、キリストに似た者とされる約束を信じ、日常の歩みの中における誘惑や戦いの中で、いかに内住のキリストに服従するかを選択し続ける歩みです。これさえも、自力でやろうとすれば失敗することは明らかで、「神の恵みと信仰」に立つことが祝福の道なのです。
- そのために神は、私たちに御旨を示したみことばが記されている「聖書」とカウンセラー（執り成し/助け手）としての「聖霊」を下さっています。
- 最近、私は自分の携帯の電話番号帳に、宛名「私の神様」と携帯番号「000-0000-0000」を入力しました。神は、こんなことをしなくとも、私たちが父なる神に顔を上げ、祈るときに、即座にチャンネルを繋いでくれます。そのことを自覚し、自分の考えだけで何かしようとしていることに気づいたら、神に携帯をかけることにしたいと思ったのです。
- 聖書に出てくる信仰者は、神にあらゆることを申し上げその導きよって祝福を手にしています。クリスチャン生活は神の導きと守りを確信し、今日この日も、その安心を持って、神と人に仕えるために世に出るのです。皆さんの上に豊かな神の祝福がある1ヶ月となりますように祈ります。

先月の多くの恵みから

- ① 今年のイースター礼拝も、石巻山城町教会(関川裕一郎師)で合同礼拝として、山城町教会の兄姉と捧げることが出来ました。礼拝後に一品持ち寄りの「祝会」にも加えていただいて主にある楽しい交わりの時間を楽しみました。
- ② 4/2-3に、オアシス教会の趙師のお誘いで山形のフルゴスペル教会で開催された「東北の牧師祈祷会1019」に出席させていただきました。韓国の汝矣教会が全ての資金を担い日本の東北の地の宣教のために祈り捧げて下さった集会です。
- ③ 4/28に、2019年度の年次総会を開催し、2018年に神様と皆

さんからいただいた支えに心から感謝し、私たちは「成熟を目指して(ヘブル6/1a)」を目標聖句に、忠実な歩みを願って新しい一步を踏み出しました。小さな群れの働きのために続けて祈りの支えをお願いいたします。

④ 4月も特別介護施設の入所のSさんを毎週訪問し、祈り、賛美歌をを歌い、みことばを開いて、楽しい交わりの時間を持ちました。この時間を楽しみに待っておられ、妹さんから「讃美歌を歌うと涙が出てくる」と言っていたという嬉しい電話をいただきました。

⑤ 気仙沼の阿部兄より電話で、会員でキングス・ガーデン宮城の理事長佐藤春子さんの葬儀で奏楽をして欲しいと妻に要請があり、4/16の葬儀で協力できました。

⑥ 4/15に「宮城三陸3.11追悼記念会」準備委員会が米山の宮城教会(大原阿津子師)で開催され、本年度の東松島市と女川町での開催についての反省と来年の方向性について検討会議を開きました。アーチスト、音響関係者の無料奉仕の上、教会や信徒の捧げ物で経済的にも守られて感謝しました。

⑦ 川上直哉師による市内教会合同学習会が4/24に継続して持たされました。アーミッシュの赦しについて学びました。

⑧ 4月も皆さまからの献金、メール、電話、手紙、祈りでの励ましをいただき、働きが継続できたことを感謝しました。

■ 今月も以下の課題を祈って頂けるようにお願いします

- ① 今野かつ子さん/新井李恵子姉/Dei姉と岸浪師の治療のために。
- ② 石巻地区の各教会の働きと地域より求道者が起こされるように。③大平英秀さんのために ④九州・西日本・北海道の被災者のために。⑤次年度の3.11震災追悼記念会のために

群の定期集会

・礼拝 (毎週日曜日)	10:00-11:30
・祈り会 (毎週水曜日)	10:00-11:30
・聖書を読む会(第1火曜日)	10:30-12:00
・ほっと・Time (第3火曜日)	10:30-12:00
・コーラス「花」 (第2,4木曜日)	13:30-15:00
・楽しい手芸 (第2,4月曜日)	10:00-12:00
・学習支援 (地域の子どもの要望に応えて)	

信仰を詠う

5月 嬉しい賑わい

連休を 終えて二合に 戻りたる
ご飯に釜も 我も戸惑う

黄ばんだり 破れたレシピの ノートには
子どもと囲んだ 夕食の歴史
キッチンを 片付けて寝る それだけで
確かな明日が きそうに思う



今野かつ子

連休中、娘や孫達の帰省で賑やかだった数日があっ間に過ぎた。

子ども達が用いた思い出深い食器を片付け電気釜も小さいものに戻しながら、明日からの二人の生活中に新たな希望を持つ取り組もう。

2019/3月末～2019/4月末までの教会活動の情報と地区教会活動との関わり



アドナイ・イルエ

「アドナイ・イルエ」=主の山に備え在り

信仰の歩みの中で

今、振り返りの時を迎えて

西堀福音キリスト教会 関口貴子

60歳になり定年という事で職を退いた。

ケアマネとしての仕事は長くはしていない。介護士の期間を合わせても15～16年の事。

洗礼を受けたのは20代でも私は全くのはぐれ者、クリスチヤンであることも隠していた時期もあった。

今回友人の提案で「大籠のキリスト殉教公園」を回つてから石巻を訪ねる事になり、殆ど何も調べることもせず、その地に立つた。

300人以上の殉教者を出したという信仰の様を資料館で見学した後、その数と同じと言われる階段を上り高台のクルス館にたどり着いた。今から400年よりも前の日本で、多くのキリスト者が殉教した事実がそこにあった。

凄惨な有様に胸が痛んだ。残った者の中には隠れクリスチヤンとなった者もいた。様々な生き様がそこにあったのだろう。今の時代の自分たちが知ることができるものその様々な生き方があった故だから。

その地を治めたクリスチヤン武将の後藤寿庵のことを知りたくて帰ってからネットで調べた。伊速政宗からの「キリストの教えを守る許可を得ていることを秘密にせよ」との勧めを退け「そのような誓いは断じて立てられない、殿のごひいき、財産、いのちを失うとも」と答えたとイエズス会の年報に書かれているのだという。しかし、その後、館は焼失、最後のミサを捧げた後は南部に逃れていったのだと。殉教の記録はない。民を残して?とも思う。史実には知られていないだけなのかもしれない。民の中には処刑から逃げよう



として銃で撃たれた者も多くいたという。その記者は、天国を信じているなら殉教は喜び、信仰者とは言い難く、その地にはそこまでの信仰は根付いてなかったのではとも記していた。自分がその時代に生きていたらと思った。主を信じる道が与えられても、惨い有り様を前に身体が勝手に逃げ出してしまう者であったかも知れない。

けれどそんな者にさえ、主は共にいて下さり天の門を開いてくださるお方だと信じている自分がいる。

「喜ぶものと共に喜び、泣くものと共に泣きなさい」ケアマネになろうと決められたのもこのみ言葉ゆえ。優秀なケアマネになれなくとも、誰かの傍らで一緒に泣いたり喜んだりする者でありたいと思った。善を行うことなど自分にはできない。全き善は、主の元にのみあるのだから。だから弱き自分は偽善でも良い。

ただ主を知りたいと願い、主をならい歩むのみでよいのだと。そう思えてから行動ができるようになった。

震災の後。石巻の地に立たせて下さったのも主。祈り続けるうち、弱き自分が遠き地にいて、その傷の大きさを知ることなどとても出来ないと感じていたから。たった一人でもいいので誰かの傍らにいさせて下さいと祈った。導きはすべて主がして下さった。今でも多少なりとも関わりを持たせて頂けているのもまさしく主のみ業に他ならない。

自分に誇りがあるとしたら、心貧しき者であることだけ。

多くを理解することは出来ない者ではあるが、「主にすがりつつ歩まん」と願うばかりである。

「祈りの家」では主を仰ぎ、誠実に歩む方々との礼拝の時を頂き感謝でした・馬っ子山で石巻を一望しつつ祈ることが出来たことも。

さて、これから的人生はどこで何をするのだろう。今は祈りつつ、もう少し振り返りの時を持たせて頂こうと思っている。

2019.3.31 感謝して